

2021年度 名古屋芸術大学 入学試験問題

芸術学部芸術学科 デザイン領域 その他コース (先端メディア表現コース、文芸・ライティングコース以外)

一般選抜「一般入学試験 1期」

試験科目：「考え方の表現テスト」

日 程：2021年2月2日(火)

試験時間：9時00分～13時00分(4時間)

配付されるもの：問題用紙1枚、B3画用紙1枚、ワークシート①3枚、ワークシート②5枚、A4コピー用紙5枚、色鉛筆セット

[問題]

2020年は、地球規模で新型コロナウイルスが猛威を振るい、その影響は今なお続いています。身近な環境でも、ステイホームやソーシャルディスタンスなどの流行語に象徴されるライフスタイルの変更が余儀なくされました。今後、私たちの価値観にもさまざまな変化が起こると言われています。社会生活や経済活動への負の影響が予想される一方で、新しい生活のしかたやコミュニケーションのあり方など、これを機に好転を目指す動きも各所で議論されています。

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」を簡条書きし、それぞれどのような事例かを簡潔に説明しなさい。ここでいう「コミュニケーションのかたち」とは、対面による会話などの意思疎通に加え、電話やSNS、WEBを介したテレコミュニケーションのほか、ポスターやCMのような広告、新聞やテレビなどのマスメディア、図書館や学校など、多くの人が集う公共空間や幅広い人と人との関係性を意味するものとする。

ワークシート②

ワークシート①で挙げたもののうち、デザインを活用することで発展的に展開できそうなアイデアを複数検討し、ワークシートに鉛筆で記載しなさい。

プレゼンテーション

ワークシート②で挙げたものうち一つを選び、具体的なプランを検討して画用紙に表現しなさい。

[条件]

- ・ワークシート①、②ともに提出するが、用紙をすべて埋める必要はない。鉛筆を使用し、①は言葉で、②は言葉やラフスケッチで説明すること。
- ・プレゼンテーションは、鉛筆、色鉛筆を使用し、絵や図、言葉を用いてわかりやすく表現すること。
- ・画面のどこかに必ずタイトルを入れること。
- ・技法や表現形式は問わない。

※画用紙の使用は縦横自由とする。

※受験番号のみを画用紙裏面右下に鉛筆で記入すること。

※A4コピー紙は下書きや鉛筆を削る際に使用すること。

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」

1

2

3

4

5

どのような変化が起こったかの説明

1

2

3

4

5

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」

6

7

8

9

10

どのような変化が起こったかの説明

6

7

8

9

10

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」

11

12

13

14

15

どのような変化が起こったかの説明

11

12

13

14

15

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ



継がりの変化

現在、私たちは新型コロナウイルスの猛威により、人との継がり方が大きく変化してある。

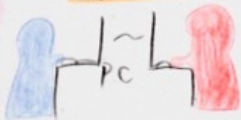
例えば、パソコンやスマートフォンを用いてアプリやSNS、チャットなどを使い、コミュニケーションを取ることである。



SNSやチャットといった連絡システムはとても便利なものであるが、ニュースでも話題になるぐらい会話に問題が起きることもある。アプリによっては映像を使うことができる。

1対1

1対複数

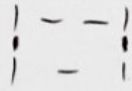


しかし、いくら映像で顔がわかる

といっても対面で話す時の感覚や細かい顔の動き(表じょう)を読みとることは難しいと私は思います。

私の求めることは映像技術の発展と映画館などに使われている3Dや4Dといった技術を普段使っているパソコンに取り入れることです。

人と対面で会話をするときは声質、顔の重たさに着目します。しかし、SNSやチャットというものでは相手の行動を目で確かめることはできません。そこで「顔文字」といったものを使います。



顔文字を使って、その時の想いを相手に伝えることができます。

ができませんが、実際にはどんなことをしているのかまったく分かりません。なので、私はこういった表現では相手に本当の想いが伝わると思いません。

自分が今何をしているのか、何を言いたいのかを3Dを使って表現できたらいいなと思います。今よりもより相手のことを詳しく見ることができるようからです。

例をあげると、

震災などで人数が減ってしまった学校

同士を映像で

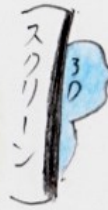
スクリーン通じて一緒に

授業を受けているようにみせるといった技術を見たことがあります。



相手の教室の人との会話もできます。

こういった技術をパソコンでのやりとりに取り込むことで今よりも会話が身近のように感じる事ができるのではないかと思います。もし、このようなことが実現するのであれば、スポーツなどにある他校との練習試合なども映像を通じて行うことができるのではないかと思います。



パソコンなどを使用すると対面で会話をする時より、相手の顔を見ないで打ちこむことができるが、相手と対面で「話すこと」ができなくなる。

人と対面で「話すこと」の大切さを忘れないようにするために積極的に家族や身近な人と会話することが大切なことだと思えます。

① テーマ → テレワークの在り方



縦

是頁

今 17色

意見

求めること
赤

人との会話
赤

例
おみこり

Xリット
and
テXリット

かいせん
茶

~~最後~~

みずいろ

- 使法の → ④ 人との会話
- スポーツ (例) とやめる
 - ③ 私の求めること
 - ② 意見 (自分の)
 - ① 現在の様子
 - ④ 人にと、大切なこと

今の人がたれがちなこと

- (例) 電話の話し方
- 2メールのまちがい
- 3対面での会話

Xリット and テXリット

最後

~~黒い色~~ えんじやう

※ 文字はわかりやすくついでに
大きさを

~~あ~~ ~~あ~~ ~~あ~~ ~~あ~~ ④い

~~その~~
人とのいとなみの変化
↓

継が(方)

ワークシート②
No.2
使用

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」

- 1 フェイスシールドを用いての会話。
- 2 マスクをつけるという行動
- 3 パソコンなど"の画面を用いて相手とつながる。
- 4 スポーツにパソコンを使い、会話するようになった。
- 5 電子機々によるゲームなど"の発達。

どのような変化が起こったかの説明

1 フェイスシールドというプラスチックの板を人との間におき、個々の空間をつくるようになった。

2 ひまつかん染をさけるために誰もがマスクを着用するようになった。

3 グーグルなど"が作ったアプリを使用して複数人の相手とつながるようになった。

4 今までスポーツをして相手と交り合い、ふれあっていたがコロナによりできなくなった。パソコンをお互いの状況を確認するようになった。

5 コロナの前から流行っていたゲームだが、コロナ期に入りよりヒットした。

😊
家族との会話が aumentado.

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」

6 広告などによる警告

7 SNSを用いた会話がより増えた。

8 学校などの机が先生方の取り組み方の変化

9 ニュースがCMによる警告

10 図書館のやりとりの変化

どのような変化が起こったかの説明

6 コロナ期に入り、今までにないものが増えた。

広告や新聞などに必ず[↓]人との関わり方についてのマナーを記載するようになった。

7 SNSやアプリを用いた会話は以前からあったがコロナ期になりより増えた。

↳ 人との対面の会話をさけることにより。

8 普段使う生徒の机が教卓にフェイスシールドがついた。

↳ 友達とのやりを感じるようになった。

先生方は、ゴルフの時にかぶる帽子型のフェイスシールドを身につけ、生徒と接するようになった。

9 ニュースがCMでは相手とのやりをとりで座ることが多い。

一般人に向けての注意だと思ふ。

↳ 気がゆるむから。

10 図書館では普通貸したり返したりするのに図書館員を通じてやり取りするが、今は予約などの方が増えた。

ワークシート①

コロナの影響により変化したと考えられる「コミュニケーションのかたち」

11 家族との時間

12 近所づきあい

13 飲食店などでの過ごし方

14

15

どのような変化が起こったかの説明

11 コロナ期により仕事などのつごうにより、親といる時間が増えた。

家族との絆が深まった。

12 マスクをつけて会話をすることはあたりまえになったが、前より絆を感じるようになり、地域間での会話が減った。

13 マスクをとって食事をするので「今まで」のように食事中に話すことがあまりできなくなった。

14

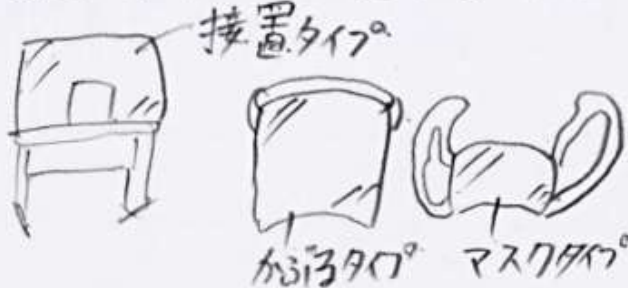
15

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ フェイスシールドの形を変化させる

現在使われているフェイスシールド



共通点は「物体が目に見える」こと

私の意見

- なにかとストレスを感じる
- 話すときに違和感がある (特にかぶるタイプ)
- つばなどがたまりやすい (マスクタイプ)
- 周囲の雰囲気がいささか

かぶるタイプ

理想は完全にシールドを見えなくすることが一番だがなかなかできない。
↓私の考え

ヘルメットのようにかぶること。
↓どのよう

自分のキャラクターをつくり、ヘルメットに形をつけて表現する。

→ (趣味や得意なものを用いる)

私の考える形

マスクタイプ

○ 口元をみせたいなら 透明のフィルターのようなものをつける
↓なぜ?



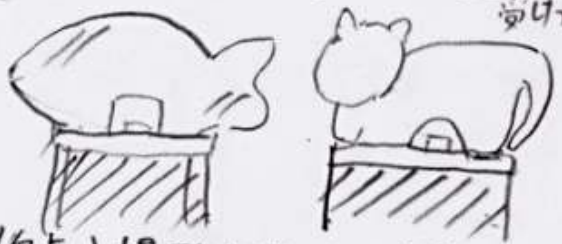
←今のタイプだとつばが息などづいた水滴がまるみえだから。(相手の気分の問題)



接置タイプ

○ ただ机などにつけるのではなく 様々な場所にあわせて形を変える。

(例) 水族館や動物園の



(欠点) 場所を多くとる。

(良点) 周囲の雰囲気をなごませる。

私の場合

横



(欠点) 重い 夏場にあつい

(良点) 個性がわかる

ワークシート②

「コミュニケーションのかたち」を発展的に展開できそうなアイデア

テーマ テレワークのあり方

現在

1対1
パソコン



1対複



SNSやチャットは
とても便利なもので
はあるが、人と対面
で話をすると以上に
問題がおこりうる。
いくら映像であ
るとはいえ、文対面
で話すときの感覚が
顔の表情を読み
とる(細く)ことは難
しい。

顔の表情



チャットやSNSで
はこういった顔文字
がありますが、実
際の顔はわか
らない。



しかも微妙な顔
のうごきがあ
らな

私の考え

スポーツ



他県の相手と試合などを
したくてもできないとき、パ
ソコンを使えるようにする

これは、前からある技術を発展させ
ることができるのではないかと
思った。

例えば、震災などで人数が減
ってしまった学校同士を映像を通
じて

一緒に勉強しているように見え
るという技術を見たことがあります。

それを発展させることができれば、
映像といえどもより身近のよう
に感じ、今よりも楽しくなるの
ではないかと思いました。

自分が今何をしているか、何を
言いたいのか3Dを用いて表
現できたらいいなと思います。
今よりはもっと表情を読み
とることができると思っ
たからです。

私の求めること

- 映像技術の発展
- 映画館などに使われている3D
や4Dという技術を普通のパソコン
にも用いること